



2017年9月1日(金)～

2017年9月28日(木)の活動

○ 学生観光まちづくりコンテスト

9月5日(火) 金沢市

大学生観光まちづくりコンテスト(大学観光まちづくりコンテスト運営協議会主催、北経連特別協力)が開催された。北陸ステージは昨年に続き2度目。前回の2倍、54チームがエントリーし、予選を通過した12チームが金沢アートホールでのプレゼンテーションに臨んだ。

最高賞である観光庁長官賞には、山梨英和大学の「観光が育む北陸の文化と自然 世界遺産が繋ぐ人的ネットワーク」が選ばれた。

北陸からは、金沢大学・金沢工業大学連合チーム、福井県立大学が受賞した。(担当:吉井)

○ アゼルバイジャンフォーラム in 富山 (ライフサイエンス市場開拓フォーラム)

9月26日(火) 富山市

JICA と在日アゼルバイジャン共和国大使館主催、日揮㈱協賛のフォーラムを国際交流推進委員会として後援した。

昨年よりアゼルバイジャンの首都バクーと小松空港との間に航空貨物直行便が週2便で運航されており、これを活用したコーカサス・中央アジア地域への進出支援を目的としたもので55名が参加。

アゼルバイジャンは親日国で日本製品に対する好感度も高い国。また、産油国で経済も安定しており、ライフサイエンスのビジネス環境は有望との説明があり、参加者は熱心な意見交換を行った。

アゼルバイジャンの航空会社シルクウェイウエストの田中日本支社長から、今年度内にチャーター便から定期便への格上げが見込まれ、利便性が高まるとの説明があった。現在は電子部品の物流が多いが今後医薬品や食品などの貨物も増えていくことが見込まれる。(担当:杉山)

○ 会員懇談会(福井会場)・創立50周年記念講演会

9月22日(金) 福井市

平成29年度会員懇談会(福井会場)をザ・グランユアーズフクイにて開催、会員約70名が参加した。

懇談会では、久和会長の挨拶の後、福井県産業労働部長安倍暢宏氏より、懇談会のテーマである「地方発の革新的イノベーションの創出」の事例紹介として、福井県民衛星プロジェクトの取組について紹介いただき、その後自由懇談を実施した。参加会員より、宇宙産業への挑戦は大変夢のある取組みであり、培った技術や人材を北陸地域内外にどのように展開していくのか等、質疑応答があった。

懇談会后、当会創立50周年記念事業として福井県立大学地域経済研究所講師の江川誠一氏より、「北陸新幹線敦賀開業に向けた今後の課題」と題してご講演いただいた。江川講師は、北陸新幹線金沢開業効果について説明の後、「北陸の更なる活性化へのシナリオ」として、各県の取組むべき課題や、広域的な連携、北陸三県が一体となった観光戦略の必要性などに言及し、今後敦賀延伸にむけた各駅周辺の街づくりを着実に進める必要性を訴えた。

講演会后、交流会を実施し、盛会裡に閉会した。

※当会ホームページに、調査報告書「北陸新幹線金沢開業の整理と敦賀延伸に向けた課題」を9/22掲載いたしました。是非ご覧ください。(担当:本多)

【お礼】

お蔭をもちまして、西日本経済協議会総会は10月4日、盛会裡に終えることができました。詳細は次号にてご報告いたします。

ホームページをご覧ください！

北陸経済連合会のホームページが見やすくなりました。

ほしい情報にすぐにアクセスできます。

スマホでも見やすい北陸経済連合会のホームページを是非ご覧ください。

<http://www.hokkeiren.gr.jp/>